

【通信】

総会報告

日時：2012年7月8日(日) 14:30～15:00

会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W309 教室

1. 議題

(1) 2011年度事業報告および決算報告

2011年度事業報告

① 研究会・総会の開催 (詳細は会誌8号【通信】欄参照)

第1回研究会・総会

2011年7月10日(日) 13:30～17:30 北海道大学

研究発表4件、学会設立30周年記念講演1件

総会：2010年度事業報告・決算報告、2011年度事業計画・予算案など

第2回研究会

2011年11月13日(日) 13:00～16:45 函館市地域交流まちづくりセンター

講演1件、研究発表5件

② 講演会等の開催

2011年7月10日(日) 北海道大学

岡田淳子氏(本学会顧問)講演会

「ポトラッチ儀礼の復活と効用」

(2011年度第1回研究会における講演、詳細は会誌8号【研究ノート】欄参照)

2011年8月2日(火) 北海道大学

ハスバートル氏(中国黒竜江省満語研究所教授)講演会

「モンゴル語と満洲語の関係について」(北方研究教育センターと共催)

2011年11月13日(日) 函館市地域交流まちづくりセンター

中村和之氏(函館工業高等専門学校 教授)講演会

「13～18世紀の中国史料にみえるアイヌ」

(2011年度第2回研究会における講演、詳細は会誌8号【講演会等報告】欄参照)

③ 会誌第8号の刊行 (2012年3月刊行、110ページ)

論文2、研究ノート6、資料等1、書評・紹介4

④ シンポジウム等後援

- ・「サイエンスオープンカフェ ダンス・文化・ランドスケープ」

(市立小樽文学館・美術館広場：2011年6月12日)

- ・第26回北方民族文化シンポジウム

「環境変化と先住民の生業文化：陸域生態系における適応」

(オホーツク・文化交流センター：2011年10月1, 2日)

- ・ミュージアム・トーク「アイヌ文化の謎を探る ―文様の神秘と呪術」

講師：児島恭子氏

(函館市北方民族資料館：2011年11月12日)

⑤ ホームページ更新

月平均2回ほど更新。2011年7月から1年間のアクセス数約1400件(のべ10000件)

⑥ 新規入会7名

**2011年度決算報告**

収支報告 (2012年3月31日現在)

収入の部	予算	実績	差額	備考
繰越金	392,397	392,397	0	
会費収入 2011年度会費	195,000	183,000	△12,000	3,000円×61人
過年度分未収会費	30,000	51,000	21,000	3,000円×17件
先払い分	0	12,000	12,000	3,000円×4件
小計	225,000	246,000	21,000	
会誌販売収入	20,000	23,200	3,200	
雑収入	0	66	66	銀行利息
合計	637,397	A 661,663	24,266	

支出の部	予算	実績	差額	備考
2011年度会誌印刷費	150,000	110,460	39,540	
通信費	20,000	14,920	5,080	
文具・消耗品費	5,000	1,333	3,667	
アルバイト謝金	60,000	68,000	△8,000	
ホームページ管理費	10,000	10,000	0	
予備費	80,000	20,500	59,500	講師謝金、会場費
合計	325,000	B 225,213	99,787	

(単位：円)

A-B=436,450 円 (次年度繰越金)

収入・支出ともに適正に処理されていることを確認いたしました。

2012年 6月 22日

監査委員 野手 修

2012年 6月 26日

監査委員 平田 昌弘

## (2) 2012年度事業計画および予算案

2012年度事業計画

1. 総会の開催（第1回研究会と同日開催）
2. 研究会の開催（2回：7月，11月）  
第2回研究会を例年通り11月ごろに開催予定。札幌圏以外での開催が可能か、北大以外の札幌圏での開催も視野に、引き続き運営委員会で検討する。
3. 講演会等の主催／共催／後援  
①第27回北方民族文化シンポジウム（網走市、10月13，14日）の後援  
他は未定だが、随時提案・通知する。
4. 『北海道民族学』第9号の刊行（11月末日エントリー締切、12月末日原稿締切）

2012年度予算

## 北海道民族学会 2012年度 予算案

収入の部	前年度実績	予 算	備 考
繰越金	392,397	436,450	
会費収入 2012年度会費	183,000	195,000	3,000円×65人
過年度分未収会費	51,000	30,000	10件
先払い分	12,000	0	
会誌販売収入	23,200	20,000	
雑収入	66		
合 計	661,663	681,450	

支出の部	前年度実績	予 算	備 考
2012年度会誌印刷費	110,460	150,000	
通信費	14,920	20,000	
文具・消耗品費	1,333	5,000	
アルバイト謝金	68,000	70,000	
ホームページ管理費	10,000	10,000	
予備費	20,500	80,000	
次年度繰越	436,450	346,450	
合 計	661,663	681,450	

(単位：円)

### (3) 総会議事

#### 1. 「学会賞」規定の制定と運用について

運営委員間で検討を重ねてきた規定案にそって、今年度から規定の適用を開始し、2013年度総会で第1回受賞者発表・授賞をめざす。規定は下記参照。

#### 2. 会誌掲載論文等の機関レポジトリ登録およびPDF版配布について

①機関レポジトリ等への登録：会誌発行後、1年を経過したものに限り認める。

②PDF配布：会誌発行後、論文・研究ノート執筆者に配布。ただしHP等への掲載・公開は①に準じる。

③投稿規定に上記の点を明記する。

#### 3. 会費未納者の退会について

2010年度、11年度2年分未納の会員（該当者2名）

#### 4. その他

日本文化人類学会との連携について出利葉・同評議員から報告と提案。北海道地区担当理事は高倉浩樹氏（東北大）。修論発表会など、連携行事の共催あるいは後援を検討することとした。

\*\*\*\*\*

#### 北海道民族学会 学会賞規定

1. 北海道民族学会は、民族学、及びその関連分野で顕著な功績のあった者に対し、各年度に学会賞の募集・選定・授与をおこなう。
2. 学会賞は、北海道民族学会による若手研究者の育成と学術活動の促進・発展を目的とする。
3. 学会賞には、北海道民族学会特別賞（特別賞）と北海道民族学会奨励賞（奨励賞）を定める。
4. 学会賞候補者は、会員からの推薦（自推を含む）によって受け付け、運営委員会により受賞者を決定する。募集や選考の詳細については別に定める。
5. 学会賞（特別賞及び奨励賞）に選考された者には、賞状ならびに記念品を授与する。
6. 特別賞と奨励賞の対象は以下の通りとする。
  - (1) 特別賞
    - a. 候補者は、本会会員とし、年齢は問わない。
    - b. 候補者は、民族学及びその関連分野で、学術あるいは事業活動等において顕著な功績があり、現在も研究・教育・普及活動等を行っている者とする。
  - (2) 奨励賞
    - a. 候補者は、本会会員とし、応募時点での年齢が満40歳未満であること。
    - b. 候補者は、原則として前年度に学術雑誌等に発表した論文・資料等、またフィールドワークを含む研究活動等により、民族学及び、その関連分野において学術上の顕著な業績を上げ、将来が期待される者とする。審査に際しては、『北海道民族学』に掲載された論文・研究ノートを優先的な評価対象とする。
7. この規定は2012年度から適用する。

## 2012年度研究会（発表要旨は本号に掲載）

## 第1回研究会プログラム

日時：2012年7月8日（日）13：00～17：15

会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟（通称：W棟）W309 教室

## 【研究発表】

1. 井上淳生（北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程）  
「縁をつくる試み：カップル化が生むつながりと分離」
2. 小西信義（北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程）  
「なぜ、おじいちゃんは雪はねがうまいのか？ —採炭と造材からルーツを探る」
3. 高泉 拓（札幌大学 非常勤講師）  
「銃「文化」の生成 —1992年日本人留学生射殺事件を通して」
4. 久井貴世（北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程）  
「江戸時代におけるツルと人との関係史  
—東日本における分布と季節移動を中心に」
5. 梅木佳代（北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程）  
「エゾオオカミをめぐる歴史と文化  
—北海道アイヌのオオカミ観についての再検討」
6. 櫻間 瑛（北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程）  
「エスニック・シンボルとしての教会  
—現代ロシアにおける宗教と民族の交錯について」

## 第2回研究会プログラム

日時：2012年11月11日（日）13：00～17：15

会場：北海学園大学 豊平キャンパス 6号棟 C30 番教室

## 【研究発表】

1. 周 菲菲（北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程）  
「反日感情と日本の観光イメージ —訪日中国人観光者を中心に」
2. 石井智美（酪農学園大学）・小宮山博（国際農林水産業研究センター）・ラブダンス  
レン=チャンツアルドラム（韓国全北大学）  
「内陸アジアの乳酒の現状と消費」
3. 川上絢子（酪農学園大学）・石井智美（酪農学園大学）  
「日本人のシカ肉に対する意識」
4. 山本香織（酪農学園大学）・秦泉寺さくら（酪農学園大学）・石井智美（酪農学園大学）  
「パラグアイにおけるマテ茶の飲用」
5. 中村尚弘（Mount Allison University, Canada）

「先住民コミュニティにおける参与型アクション・リサーチの批判的検討  
—平取町二風谷を事例に」

特別セッション《北東ユーラシア地域のライフストーリー》

6. 永山ゆかり（北海道大学スラブ研究センター共同研究員）  
「語りから見たカムチャッカのアリウトル民族の文化継承」
7. 丹菊逸治（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）  
「ニヴフの言語・口承文芸調査時に採録されたく生活体験の語り」
8. 滝口 良（北星学園大学非常勤講師）  
「社会主義体制下のモンゴルにおける個人商の活動  
—ポスト社会主義国におけるインタビュー・データの利用可能性について」

2012年度新入会員

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| 天野 圭子   |                          |
| 梅木 佳代   | (北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程)   |
| 大内 須美子  | (北海道大学大学院文学研究科 修士課程)     |
| 川上 絢子   | (酪農学園大学)                 |
| 小西 信義   | (北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程)   |
| 櫻間 瑛    | (在ウズベキスタン日本大使館専門調査員)     |
| 秦泉寺 さくら | (酪農学園大学 JICA 研修員)        |
| 高橋 史弥   |                          |
| 滝 澄子    | (北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程)   |
| 田村 将人   | (北海道開拓記念館 学芸員)           |
| 手塚 薫    | (北海学園大学 教授)              |
| 中野 育男   | (専修大学 教授)                |
| 藤原 崇    | (愛知県立高浜高等学校 教諭)          |
| 山崎 幸治   | (北海道大学アイヌ・先住民研究センター 准教授) |
| 山本 香織   | (酪農学園大学 JICA 研修員)        |

北海道民族学会役員 (2011年7月改選)

会 長	津曲 敏郎	(北海道大学)
運営委員	佐々木 亨	(北海道大学、事務局担当)
	野口 明広	(北海道大学、会計担当)
	出利葉浩司	(北海道開拓記念館)
	林 美枝子	(札幌国際大学)
	中田 篤	(道立北方民族博物館)
	中村 和之	(函館工業高等専門学校)
	野手 修	(藤女子大学)
	平田 昌弘	(帯広畜産大学)
	岩崎 まさみ	(北海学園大学)
	甲地 利恵	(道立アイヌ民族文化研究センター)
監 事	野手 修	[兼任]
	平田 昌弘	[兼任]
顧 問	岡田 淳子	

北海道民族学会事務局

060-0810 札幌市北区北10条西7丁目  
 北海道大学大学院文学研究科  
 佐々木亨研究室内  
 Tel & Fax: 011-706-3067  
 dou-minzoku@mail.goo.ne.jp  
[http://www.geocities.jp/dou\\_minzoku/](http://www.geocities.jp/dou_minzoku/)